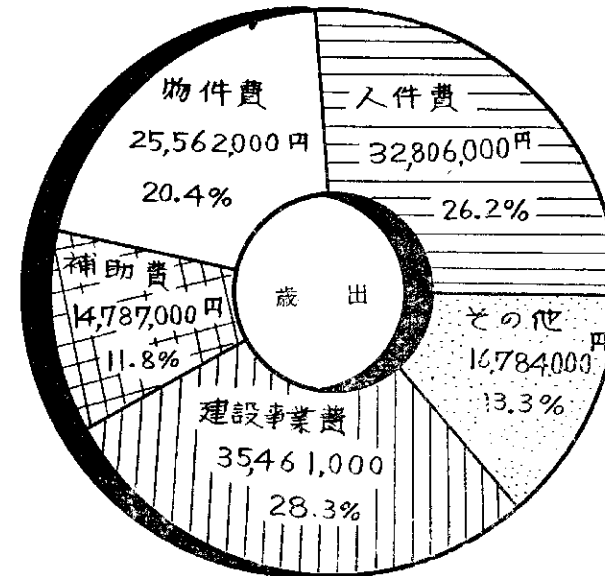
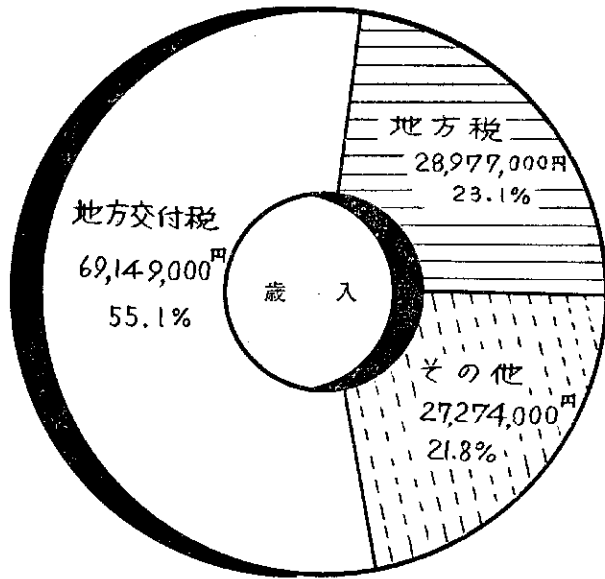


性質別予算比較



その他明細

| 才入 | 才出 |
|---|---|
| 諸財分線寄県国使用 担産金支庫料 計収及越附支及び 及び負出出 入入金金金金金 金 | 予線積出失災公扶維 資対害持 備出立貸事復債助補 付業旧修 費金金金費費費費 |
| 二七、二七、四二、 一一、二七、四二、 二一、二七、四二、 一三、二七、四二、 三三、二七、四二、 五五、二七、四二、 三三、二七、四二、 六六、二七、四二、 三三、二七、四二、 二二、二七、四二、 八四、一九、八四、七九、 % % % % % % % % | 一六、二二、五三、 七三、〇六、三六、三三、 八〇、〇〇、五〇、二三、 四〇、〇〇、二〇、九一、 二〇、一一、四二、二、 三〇、一〇、二一、四二、 三二、六五、三一、九〇、 % % % % % % % % |

新年度予算決る

一般会計 総額1億2,500万円

教育費は3,629万円 総額対比29%

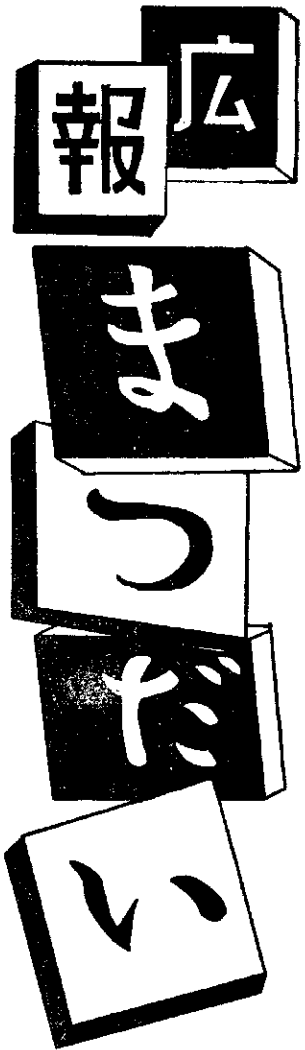
昭和39年度の予算が議決されました。一般会計予算は総額1億2,500万円で、概要は下表および予算編成概要説明書のとおりです。

※歳入

| 款 | 本年度予算 千円 | 前年度予算 千円 | 増・減(△) |
|-----------|-------------|-------------|---------|
| 1 市町村税 | 28,977 | 29,256 | △ 279 |
| 2 地方交付税 | 69,149 | 59,180 | 9,969 |
| 3 分担金及負担金 | 2,338 | 1,777 | 561 |
| 4 使用料及手数料 | 3,202 | 3,425 | △ 223 |
| 5 国庫支出金 | 6,254 | 2,710 | 3,544 |
| 6 県支支出金 | 3,377 | 2,639 | 738 |
| 7 財産収入 | 1,370 | 303 | 1,067 |
| 8 寄附収入 | 5,525 | 2,474 | 3,051 |
| 9 繰越収入 | 3,883 | 2,340 | 1,543 |
| 10 繰入金 | 1,825 | 1,843 | △ 18 |
| × 歳入合計 | 125,400 | 120,894 | △ 4,506 |

※歳出

| 款 | 本年度予算 千円 | 前年度予算 千円 | 増・減(△) |
|----------|-------------|-------------|----------|
| 1 議会費 | 3,027 | 2,286 | 741 |
| 2 総務費 | 27,327 | 47,222 | △ 20,395 |
| 3 民生費 | 5,140 | 4,264 | 876 |
| 4 衛生費 | 4,593 | 2,754 | 1,839 |
| 5 労働費 | 3,785 | 3,146 | 639 |
| 6 農林費 | 18,635 | 15,034 | 3,601 |
| 7 商工費 | 228 | 178 | 50 |
| 8 土木防費 | 14,219 | 11,969 | 2,250 |
| 9 消費教育費 | 4,296 | 3,010 | 1,286 |
| 10 教養費 | 36,290 | 25,400 | 10,890 |
| 11 災害復旧費 | 2,329 | 940 | 1,389 |
| 12 公債費 | 5,231 | 3,780 | 1,451 |
| 13 予備費 | 300 | 300 | 0 |
| × 歳出合計 | 125,400 | 120,894 | △ 4,506 |



昭和39年3月25日発行
第102号
東頸城郡松代町公民館
館長 富沢清次
電話 松代6番
印刷 松代印刷所

昭和39年度松代町一般会計予算編成概要説明

(議会における予算概要説明から転載)

| | |
|-----------------------------------|------------|
| ト 各種負担金及び補助金(郡校長会負担金外38件) | 1,013,000円 |
| チ 学校用地買収費 | 200,000円 |
| リ 松代高校助成費 | 746,000円 |
| (運営費500,000、営繕費100,000、賃金146,000) | |

③ 農林水産費は 18,635,000円(14.9%)、前年度より3,601,000円増額して計上いたしましたのは、当町の個人所得の場合をみると 国民所得額100に対し県民所得は95.1%、町民所得は僅かに60.0%に過ぎない現状に鑑みて、米作りを主として畜産、養蚕、林業、これに葉煙草栽培の奨励等に力を注いで町民所得の増昇を計ると共に農業負担の軽減を目的として農業共済組合の解散によるその事業を町に移管することを計画いたしました。

主なる事業は次の通り計画いたしました。

| | |
|-------------------------------------|------------|
| (1) 福島林道開発費 | 4,000,000円 |
| 巾員4m、延長480m(町有林入口迄あと100m) | |
| (2) 農道開発費補助 | |
| イ 峠地内農道開発工事 | 525,000円 |
| 延長430m、巾員3m、事業費1,500,000、県補助525,000 | |
| ロ 蓬平地内農道開発工事 | 520,000円 |
| 延長470m、巾員3m、事業費1,300,000、県補助390,000 | |
| ハ 清水地内農道開発工事 | 510,000円 |
| 延長538m、巾員4m、事業費1,700,000、県補助680,000 | |
| ニ 木和田原地内農道開発工事 | 480,000円 |
| 延長517m、巾員3m、事業費1,600,000、県補助640,000 | |
| ホ 会沢地内農道開発工事 | 196,000円 |
| 延長260m、巾員4m、事業費392,000 | |
| ヘ 儀明地内農道開発工事 | 125,000円 |
| 延長468m、巾員3m、事業費251,000 | |
| 補助金合計 | 2,355,000円 |
| 外県費補助金 | 2,235,000円 |
| (3) 集団桑園造成費補助 | 201,960円 |
| 孟地々内面積2町歩、工事費1,009,800、県費補助302,000 | |
| (4) 優良仔牛保留費 | 600,000円 |
| 貸付和牛10頭購入費(現在貸付和牛26頭) | |
| (5) 煙草耕作組合助成 | 100,000円 |
| 昭和38年度耕作面積 12町8反歩 | |
| 売渡代金8,825,000、反当り最高105,000、平均65,000 | |

予算総額 125,400,000円前年度より4,506,000円増額して計画いたしましたのは、前年度は多年要望していましたが松代高等学校の校舎の増築工事が、県のご配慮によって3,700万円余を以て第一期工事が竣功し、第二期工事が引続いて3,500万円余で計画され、近代的永久建築三階建校舎が本秋完成する運びとなりましたので、これに伴いまして地元負担金3,000万円余を一般会計より支出いたしました関係で固定資産税を2,800,000円増徴し、歳出の面でも経費を圧縮いたしておりましたので本年度予算の編成に当りましては、これ等増徴しました固定資産税を軽減し、圧縮した経費の調整を計り、以て一般行政の充実、強化を目的として予算の編成をいたした次第であります。

主要な事項につきまして歳出から申し上げますと

① 職員給与費は 32,196,000円(25.6%)、前年度に比して4,564,000円増額計上しました主なる理由は、昨年10月1日 人事院勅告に基きます給与の改定を平年度化し給与条例によります定期昇給、所要額を予算化したのであります。人件費の増嵩は能う限りこれを圧縮する方針を堅持して定年退職者の後任は女子職員を以て補充し、事務量の増加は職員の配置替等で補い、現在の臨時雇員を雇員に昇格した外は実質的増員は自動車の管理上専任の運転手1名の新規増員にとどめました。給与費の総額は前述の通り報酬、給料職員手当、共済費等で前年度より4,564,000円16.5%の増加になった次第であります。

② 教育費は36,290,000円(28.7%)、前年度より10,890,000円を増額したのは学校運営上の需用費、営繕費の充実を計ると共に国の方針に基きます技術家庭科教室の建築並びに冬期雪派の廃止等による教育施設の充実強化を図るため主要経費を次の通り計上したためであります。

(1) 特別管轄として

| | |
|-------------------|-------------|
| イ 松代中技術家庭科教室建築費 | 3,500,000円 |
| ロ 奴奈川中 | 2,600,000円 |
| ハ 山平中寄宿舎新築費 | 3,600,000円 |
| ニ 菅刈、海老、田代分枝物置建築費 | 439,000円 |
| 計 | 10,139,000円 |

(2) 前年度に準じ計上した主要経費

| | |
|--------------------------|------------|
| イ 教育委員会費(職員4名) | 2,452,000円 |
| ロ 社会教育費(職員1名) | 2,051,000円 |
| ハ 学校一般需用費 | 8,890,000円 |
| ニ 学校特別需用費 | 2,403,000円 |
| ホ 学校一般営繕費 | 4,023,000円 |
| ヘ 学校教育振興費(教材費、準保護生徒助成費等) | 1,399,000円 |

ホ 住宅管理費

207,000円

⑤ 災害復旧費は 2,329,000円(5.9%)、前年度に比し1,389,000円増額して計上いたしましたのは、従前追加予算を以て処理しました融雪災害復旧費を当初予算573,000円計上して復旧工事の促進を計りますと共に、除雪用ブルドーザー使用料1,000,000円を予算化して、ブルドーザー運営費の精算を容易にし、一面消却積立金を積立てブルドーザーの更新を計画的に実施することに致しました。

⑥ 消防費は 4,296,000円(3.4%)、前年度より1,286,000円増額計上いたしましたのは、消防活動の重要性に鑑み報酬を団長5,000円、副団長4,000円、分団長2,000円、副分団長、部長1,500円、班長、団員700円に改定し210,000円、機械並びその他講習旅費 250,000円増額し、団員活動の活発化を計りますとともに消防施設の増強を次の通り計画いたしました。

- (1) 小型動力ポンプ整備費 1,360,000円
松代350,000、室野350,000、小池350,000、寺田310,000
- (2) 寺田防火水槽新設費 320,000円
- (3) 消防道路新設工事費 540,000円
室野240,000、田代109,000、蒲生122,000、犬伏69,000

⑦ 民生費は 5,140,000円(4.1%)、前年度に比して876,000円増額して計上しましたのは、老人福祉法の施行に当り、老人65才以上1,000名を5カ年計画で毎年200名の健康検査を実施することとしてこの委託費52,000円 国の福祉事業強化の施策に伴い、町内保護家庭は平均70世帯 年間生活保護費は約9,000,000円、医療費は前1カ年間に 9,740,000円の支給を受けている実状に鑑み、民生委員活動の強化を計るため町社会福祉協会助成費 400,000円、又、季節保育所費 646,000円等を計画いたしました。

尚、前年度に準じて計上した主要経費は次の通り計画しました。

- (1) 直江津養老院増築費負担金 112,000円
現在収容人員70名を100名に増員
- (2) 町遺族会補助 50,000円
- (3) 国民年金事務費 629,000円
- (4) 特殊学校就学奨励費 長岡育学校等 8名分 1名8,000円 64,000円
- (5) 児童遊園地助成費 40,000円
- (6) にしき学園、上越養護所負担金 104,000円
現在収容人員、にしき学園50名、上越養護所50名
- (7) 災害住宅建築費並び一時扶助補助金 220,000円

(3) ⑧ 衛生費は 4,593,000円(3.9%)、前年度より1,839,000円増額して計画しましたのは、特別会計で実施しました松代水道事業起債 8,600,000円は水道会計の財政上困難な点がありますので、一般会計より 1,700,000円を繰入て繰上償還をするよう計画いたしました。又火葬場の整備、改良便所の改修、改良堆肥盤

昭和39年度耕作予定面積 18町0反歩

- ⑥ 農業構造改善協議会費 105,250円
昭和39年度計画の指定を受けるための経費
- ⑦ 農業共済組合精算費助成 100,000円
- ⑧ その他前年度に準じて計上した主要経費
 - イ 松代地区農業改良推進協議会負担金 200,000円
 - ロ 病虫害防除班育成費 650,000円
撒粉機20台、購入費560,000 外
 - ニ 稚蚕共同飼育補助金 144,000円
 - ホ 和牛種付奨励費補助 225,000円
1頭につき300円、外農協(山平なし)200円
 - ヘ 製炭事業 700俵生産予定 364,000円

⑨ 土木費は 14,219,000円(11.3%)、前年度より2,250,000円増額して計画しましたのは、近年一般自動車並び農用車が著しく増加して既設道路の維持補修に重点を注ぐ必要が認められますので敷砂利工事に大巾の増加計画を掛けて、前年度砂利購入費1,588,000円に対し本年度は3,460,000円を計上いたして道路の利用度を高めると共に、新設改良工事を次の通り計画いたしました。

尚、公共土木事業の実施については、松代地内道路舗装工事並び流雪溝取入口工事、田沢橋架替工事、六日町～直江津線儀明地内道路改修工事、大島～津南線室野地内道路改修工事、松代～松之山線並び室野、蒲生、松代間の県道移管その他県計画によります県道、橋梁の改修工事の促進につき要請いたしております。

- (1) 松代～海老線下山地内改良工事 150,000円
- (2) 小屋丸～松口線小屋丸地内改良工事 150,000円
- (3) 居村線清水地内改良工事 450,000円
- (4) 孟地～荒瀬線孟地、片桐山地内 300,000円
- (5) 東山～海老線海老東山地内 600,000円
- (6) 儀明～青梨線儀明地内 400,000円
- (7) 居村線峠地内 150,000円
- (8) 田沢～会沢線会沢地内 100,000円
- (9) 浦田～岡野町線室野地内 100,000円
- (10) 昭和橋架替工事(竹所地内) 1,300,000円
- 計 3,700,000円
- (11) その他前年度に準じて計上した主要経費
 - イ 雪中道踏料 404,000円
 - ロ 府県道工事地元負担金 2,000,000円
 - ハ 郡土木協会関係負担金 662,000円
 - ニ 道路修路工夫賃金 264,000円

以上で歳出予算の概要を述べた次第でございますが、次に財源措置について申し上げます。

① 市町村税は **28,977,000円(23.1%)**、前年度に比して279,000円減額して計上いたしましたのは、松代高校整備のため増徴しました固定資産税の税率を1.6%に軽減して2,800,000円減額いたし、反面町民所得の増嵩により住民税の自然増収630,000円国の施策費に基き、電気ガス税の税率1%を引下げ、煙草消費の税率1.6%引上げ、これと自然増収を合せて1,228,000円、その他諸税の自然増収663,000円を見込み計上したためであります。

税目別に税額を述べますと次の通りであります。

| | | |
|--------|-------------|---------|
| 固定資産税 | 11,875,000円 | 税率 1.6% |
| 市町村民税 | 10,892,000円 | |
| たばこ消費税 | 4,000,000円 | 税率 15% |
| 電気ガス税 | 1,204,000円 | 税率 7% |
| 軽自動車税 | 910,000円 | |
| 木材取引税 | 75,000円 | 税率 3% |
| 鉱産税 | 21,000円 | 税率 0.7% |

尚、市町村民税については現行の但書方式を昭和39、40年2カ年度で本文方式に改め国民負担の均衡を計るべく国で計画いたしておりますので、これが決定した場合は、昭和39年度に全国で150億円の軽減が予定されますので、当町でも約4,000,000円軽減せられこの財源が起債と地方交付税で補てんされることとなりますので国の方針に期待いたしておる次第であります。

② 地方交付税は **69,149,000円(55.1%)**、前年度より9,969,000円増額して計上いたしました。職員給与改定、その他一般需用額の増嵩により国の予算案が約15%程度増額されておりますので12,500,000円の増加を見込み、反面旧奴奈川村合併補正分並び道路面積の減少分2,531,000円の減額を見込んで計上いたしました。

③ 分担金及び負担金は **2,339,000円(1.9%)**、前年度より561,100円増額しましたのは道路整備のため、土木費に於て2,250,000円の増額に伴います。地元負担金の増を見込み計上いたしました。

④ 使用料及び手数料は **3,202,000円(2.6%)**、前年度より223,000円減額しましたのは、住宅使用料並び国民年金印紙売さばき手数料等の科目組替による減であります。

⑤ 国庫支出金は **6,254,000円(4.9%)**、前年度より3,544,000円の増を見込みましたのは、松代中技術家庭科教室建築費補助1,000,000円、山平中寄宿舎建築費補助1,000,000円、教科書給与費、学用品、給与費補助等前年度追加予算で処理しました。教育振興費を見込み計上した結果であります。

の設置等の奨励のため新しく助成費215,000円を計上しました。

尚、国保事業並び直診事業の経営状況に鑑みて新しく300,000円の繰入金を計画して、この事業会計の運営と一般会計との関連調整を計画いたしました。

⑥ 労務費は **3,785,000円(3.0%)**、前年度より629,000円を増加しましたのは、失対事業は前年度同様延3,000人で計画いたし、道路の補修を重点として砂利購入費850,000円を計上し、又酒造研究会出稼者組合等に対し助成費98,000円安塚職業安定所負担金107,634円を計画いたして出稼所得の増加に努めるよう計画しました。

⑦ 公債費は **5,231,000円(4.2%)**、前年度より1,451,000円増加しましたのは、小学校改築債外3件の小額起債の繰上償還を計画した次第であります。現在起債元金残額22,044,000円になりましたが、近く庁舎、学校改築等のため起債の必要が予定されますので小額起債は能う限り繰上償還を考慮しておる次第であります。

⑧ 議会費は **3,027,000円(2.4%)**、前年度に対し741,000円増額しましたのは、社会の進展に伴う議会活動の重要性に鑑み、郡町村会等の協議に基き報酬の改定を計画いたしました。

⑨ 総務費は **27,327,000円(21.8%)**、前年度より20,395,000円減額いたしましたのは、松代高校の建築費寄附金26,385,000円、県会議員等の選挙費1,079,000円の減額等の関係であります。

新規事業としては次の通り計画いたしました。

- | | |
|--|------------|
| (1) 役場庁舎改築調査費 | 100,000円 |
| 庁舎の改築は避けがたい実状なので概算設計等調査費を計上しました。 | |
| (2) 育英事業奨学金制度の創設 | 300,000円 |
| 人づくりの重要性に鑑み優秀な松代高校卒業生で経済上恵まれない者に対し大学進学奨学金貸与制度を計画し、地域の発展と松代高校の充実育成を計画しました。 | |
| (3) 田野倉巡査駐在所改築費寄附金 | 600,000円 |
| 県が巡査駐在所改築費1,500,000円を予定して現在の田野倉駐在所を蒲生に移転して改築することに計画されたので、建築費の40%の地元負担金を計上いたしました。 | |
| (4) 自動車1台購入費 | 1,300,000円 |
| 現在使用のジープが使用に堪えなくなりましたので更新することに計画しました。 | |
| (5) 自動車ガレージ購入費 | 250,000円 |
| 庁舎の改築計画の関係で移動製ガレージに替えて計画しました。 | (4) |

松代町民の皆様へ

行政苦情相談のお知らせ

当局では、かねてから国、県、市、町に「してもらいたいこと」または「してもらったこと」について不満、要望のあらわれる方から事情をお聞きして、これが解決の促進に努力いたして参りましたが、今回当町で行政苦情相談所を開設いたしましたから、皆様の中でお困りのことがありましたら御遠慮なく御相談下さい。

(民事、刑事の裁判ごとになっているものは御遠慮下さい。)

尚、これまでに取扱った事柄は次の様なものであります。

社会保障(生活保護・児童保護・社会保険・国民年金・失業保険・国民健康保険・労働者災害保償・その他社会福祉)、恩給(文官、軍人遺族及び留守家族の援護費)、農地、治山、治水、道路、河川、港湾、災害復旧、農業保険、教育、住宅、衛生、登記、税金、郵政、国鉄、公社、公庫、補助金、その他諸問題。

御出の節は、国、県、市、町等から受取った文書または差出した書類等を是非御持参願います。

追而、当地区には下記の方が行政相談委員としておられますので、何時でも御遠慮なく申し出て下さい。

本山 祖心(松代町松代 電話33番)

新潟行政監察局
松 代 町

(5)

なんでも、いつでも相談をして下さい。

種目別に述べますと次の通りであります。

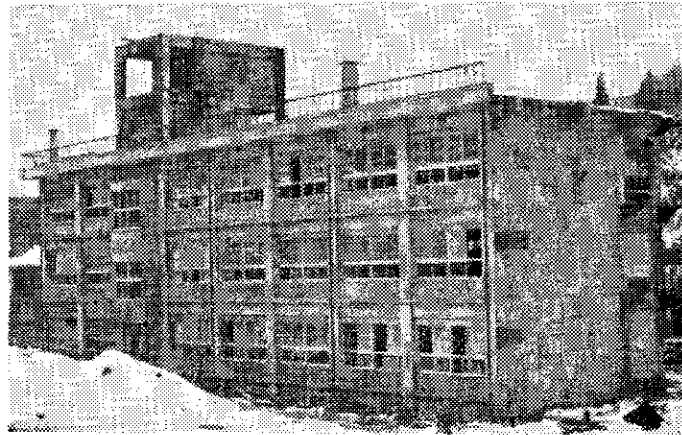
| | | | |
|--------|----------|---------|------------|
| 教材費 | 936,000円 | 松代中特別教室 | 1,000,000円 |
| 教育長給与費 | 160,000円 | 山平中寄宿舍 | 1,000,000円 |
| 理科振興費 | 210,000円 | 消防施設費 | 240,000円 |
| 学用品給与費 | 207,000円 | 国民年金事務費 | 658,000円 |
| 教科書給与費 | 85,000円 | 失業対策費 | 1,336,000円 |
| 修学旅行費 | 57,000円 | 自衛隊募集費 | 7,000円 |
| 給食費 | 245,000円 | 公明選挙委託費 | 40,000円 |
| 医療費 | 41,000円 | 老人福祉費 | 7,000円 |
| 寄宿舍費 | 25,000円 | | |

- ⑥ 県支出金は **3,377,000円**(2.7%)、前年度より738,000円増額して計上しました。主なものは、福島林道開発費2,400,000円、農業委員会費384,000円、衛生費184,000円、県税徴収交付金100,000円、季節保育所費96,000円等を見込み計上しました。
- ⑦ 財産収入は **1,370,000円**(1.1%)、前年度より1,067,000円増加しましたのは積立金の利子収入を実績により811,000円、町有建物使用料195,000円及び木炭売払代金364,000円の科目組替等により計上しました。
- ⑧ 寄附金は **5,525,000円**(4.4%)、前年度より3,052,000円増加計上しましたのは、松代中1,050,000円、奴奈川中780,000円の特別教室、山平中寄宿舍1,080,000円、海老分校64,000円、田代分校48,000円の物置増築費、福島林道開発費758,000円、消防施設費947,000円の外失対事業、季節保育所等の地元寄附金を計上いたしました。
- ⑨ 繰越金は **3,383,000円**(2.2%)、前年度より1,048,000円増額して計上しましたのは、38年予算の執行状況を勘案して計上しました。
- ⑩ 諸収入は **1,825,000円**(1.4%)、前年度に比して18,000円減額して計上しましたのは、予金利子を実績により500,000円、国民年金印紙売さばき手数料230,000円、公団造林事業費511,000円、国民年金印紙売さばき代金400,000円、その他諸収入を見込み計上しました。

以上、予算合計額 **125,400,000円**、前年度より4,506,000円3.6%を増額して計画いたしました。前年度は松代高校増築のため財政調整積立金14,000,000円の特定期間を引当てましたのでこの額を除きますと、実質的増加額は18,506,000円14.7%となりますので国庫予算増加率14.2%、県予算16.6%の中間になりますが、これは前年度予算が高校の整備対策費支出のため一般経費が圧縮された関係でこれ等の点を総合した場合、国、県予算の増高率を下廻ると考えて計画した次第であります。

高校、新校舎成る

松代高校は全日制転換以来、新校舎の建設が懸案であったが、漸く実現して第一期工事が完成した引きつぎ融雪を待った第二期工事が着工され、本年十月竣工の予定である。各学年共四学級編成、計十二学級分の普通教室が準備されることになる。県下の代表的へき地高校、小規模高校であった松代高校もこれで漸く県下の水準に達したわけである。創立以来十数年町当局をはじめ地域社会が当校を整備するために必死の努力を傾



(昭和三八年度建築校舎)

注して、ここに到達したことは、県下の驚異となっている。

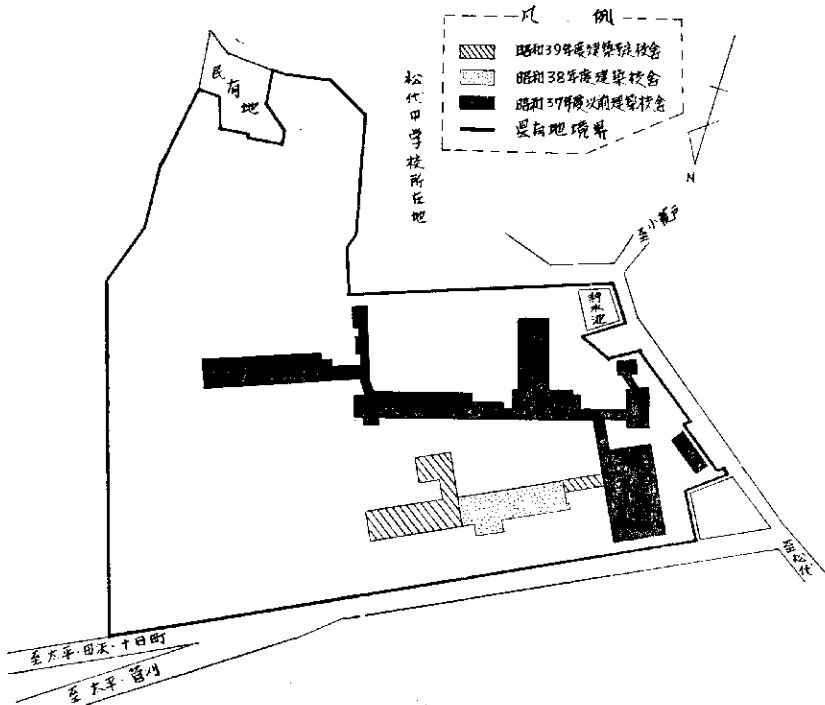
「内容を充実するためには先ず形から」という考えで松代高校の偉容はほぼ完成されたとみてよいが、今後は内容の充実である。しかしながら形に現れないだけに、これはまた至難であり、地域社会の理解と協力なくしては不可能である。

世はピーク時で、高校進学志願者はいずれの高校でも殺倒しているが、当校のみはまだ生徒募集の段階が抜ききれない。地域が純農

村であって、経済的に極めて不遇であるということが主たる原因ではあろうが、それにしても当該地域の高校進学率は四一パーセントで県下最低である。高校教育はもはや普通教育であり、中学校の義務教育のみでは、今後の進展する社会に伍してゆけないことはいうまでもない。都会地の中学卒業生のほとんどが高校進学であるのに、当該地域は経済的に恵まれないへき地であることを理由にして、町内父兄各位のうちには中学校卒業のみをもって「子弟の教育終り」としてしまっているようである。

近年産業界好景気のために、その求人が都会地においては問題視されないで、へき地農村に集中されているが、当該地域はその代表的なものと考えられる。求人申込みが殺倒して中卒の資格で就職するものが極めて多く、ために当高校への進学率は低下せざるを得ない。数日前のテレビニュースで、求人する会社側は中卒一名を採用決

県立松代高等学校校舎配置図



定するまでに数万円の諸費用を投ずると報じている。一時的な金に眩惑されて中卒のみで就職するわけであるが、本人の将来にとって不利であることはいうまでもない。好景気がいつまで続くかは分らないが、一度不況ともなれば、先ず整理されるのも中卒者であろうし、整理されないまでも、将来性はない筈である。

例外として、義務教育のみで巨万の富を擁し、あるいはそう／＼たる名声を博している人たちもあるが、これは一般人に望むべきことではない。出身世は明治、大正時代の遺物である。現代社会の機構ではこのような機構は期待すべきことではない。

都会地の父兄はその子弟を教育するために寝食を忘れて苦勞しているが、当該地域では、なお子弟の仕送を期待している父兄も相当数あるようである。父兄各位がこのような考えを是正していただいてこそ、はじめて当校存在の意義が高揚され、当該地域の発展が期待されるものである。

昭和三十八年度婦人学級実績

| 学級名 | 回数 | 時間数 | 出席延人数 |
|----------|-------|---------|--------|
| 代戸平 | 176 | 490.5 | 2,750 |
| 荒 | 23 | 82 | 564 |
| 刘沢丸 | 25 | 92 | 591 |
| 屋之 | 30 | 83 | 587 |
| 山年 | 22 | 73.5 | 624 |
| 尻 | 19 | 66 | 397 |
| 山 | 16 | 47 | 341 |
| 平 | 22 | 60.5 | 460 |
| 山 | 20 | 56 | 1,035 |
| 老 | 19 | 60 | 438 |
| 伏 | 20 | 58 | 652 |
| 地 | 19 | 63 | 590 |
| 山 | 28 | 63.5 | 711 |
| 沢 | 35 | 106 | 967 |
| 子 | 8 | 27 | 72 |
| 島 | 26 | 64 | 547 |
| 倉 | 21 | 69 | 895 |
| 納 | 18 | 48 | 362 |
| 代 | 5 | 22 | 63 |
| 平 | 13 | 36 | 243 |
| 貫 | 9 | 21 | 90 |
| 峠 | 10 | 29 | 314 |
| 田 | 17 | 47 | 582 |
| 平 | 12 | 53 | 306 |
| 貫 | 6 | 15 | 230 |
| 峠 | 18 | 59 | 471 |
| 田 | 17 | 59 | 267 |
| あ | 4 | 16 | 128 |
| 小 | — | — | — |
| 浦 | 39 | 72.5 | 464 |
| 儀 | 18 | 52 | 230 |
| 福 | 103 | 352 | 1,954 |
| 福 | 20 | 64.5 | 691 |
| 奈 | 31 | 119 | 900 |
| 室 | 28 | 71 | 495 |
| 竹 | 18 | 51 | 547 |
| 原 | 37 | 136.5 | 1,224 |
| 和 | 24 | 97 | 691 |
| 計 | 24 | 72 | 1,020 |
| 木 | 22 | 65 | 649 |
| 昭和37年度実績 | 1,022 | 3,113.5 | 24,642 |
| | 749 | 2,333 | 18,178 |

◎ 37年度開設学級数 37 学級

四 貯蓄

個人貯蓄の人口一人当り貯蓄額をみてみると、昭和三十六年の一年間における預貯金増加額は、県平均一五、一六九円に対し、町の平均は六、八六八円と半額以下となつてはいるが、これは所得額が低いことから考えて当然といわなければなるまい。

むしろ貯蓄性

向指数において

町民所得の概況 (四)

の生産性からみて限度に近づいていることは総ての人が認めざるを得ないところであつて、残された方法は、労働生産性の向上によつて、余剰労働力を他産業に振りむけること、即ち出稼による農家所得の増加をはかることが最も簡便な所得増加の道でありそうである。

全国都市世帯 二六七千円
 全国農業世帯 一三九千円
 新潟県平均 二九〇千円
 松代町平均 一九九千円

預貯金保有額に関する限り概ね全国平均に近い貯蓄が行なわれており、所得水準に比して、いかに強い貯蓄性を持つてはいるかがわかる。

五 結び

松代町の町民所得は上述の如く全国平均又は県平均に比較して、産業構造や地域の後進性に基づく格差が甚だしく、劣弱な経済基盤の上になつてはいるので、これが急速な向上は極めて至難なことと思われる。

第一次産業の振興、即ち農業所得の上昇が、その生産性からみて限度に近づいてはいることは総ての人が認めざるを得ないところであつて、残された方法は、労働生産性の向上によつて、余剰労働力を他産業に振りむけること、即ち出稼による農家所得の増加をはかることが最も簡便な所得増加の道でありそうである。

原稿募集

なり、これが増加が直接農家経済に及ぼす影響については述べるまでもなくその重要性が首肯されよう。しかしながらこれはあくまでも暫定的な手段でしかなく、不確定収入であることに変わりはない。町の経済的發展をはかり、生活水準の向上をはかるためには、恒久的な経済施策と、これを推進して行く町民ひとりひとりの異常な決意が必要であらう。(完)

- 一、べ切及び宛先 毎月二十五日迄に教育委員会事務局へ
- 二、字数 一、〇〇〇字以内
- 三、内容

① 生産を高めた体験談。② 生活改善に成功した体験又は松代町の環境で容易に実現出来る理想論文。③ 其の他かくれた美談。

- 四、匿名でも結構です。
- 五、採用のものには薄謝を差上げます。

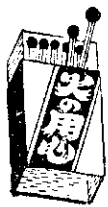
第六回珠算検定試験合格者



一級合格の島田さん

第六回珠算検定試験は去る二月二十二日に松代中学校で行なわれた。一級に島田真知子さん(島田健司さん・役場職員の次女)が合格、一級合格第一号が誕生した好成绩であった。級別受験、合格者は次のとおり。

- 一級 受検四名 合格者一名
島田真知子 (松代中)
- 二級 受検三四名 合格なし
- 三級 受検七一名 合格二一名
池田 啓子 (筋平分校)
室岡 秀子 (池尻))
室岡ちづ子 (蒲生小)
菅井 正子 ())
小堺裕美子 ())
樋口 昇 (松代小)
樋口 京子 ())
植木 絹代 (鈴木塾)
小堺 照子 (儀明)
小堺 文子 ())



春さきは火災の多いシーズンです。皆さん一人一人の不注意油断から、父祖粒々辛苦し家が、一瞬のうちに灰になったのでは……

昨年一年は無火災でした。今年もそうありたいものです。それには皆さんが一日一日を、火のおそろしさを自覚して万全の注意をはらっていただくことです。

火

「取灰」「留守にするときの残り火」「子供の火あそび」に注意し春さきのボカ／＼した陽気におどりだす火の子を防ぎましょう。

| | |
|-------------|-----------------------------|
| 小堺 義昭 ()) | 五十嵐ちづ子 (松代高) |
| 小堺 正博 ()) | 万羽ゆり子 (清水中) |
| 小堺清一郎 ()) | 小堺 輝世 (儀明分校) |
| 鈴木さよ子 (松代中) | 四級 受検六四名 合格二五名 (四級以下氏名略) |
| 石口 徳夫 ()) | 五級 受検五〇名 合格二五名 |
| 中村ふみよ ()) | 六級 // 六七名 // 三一名 |
| 佐藤いくよ ()) | 七級 // 七二名 // 二三名 |
| 鈴木 高士 ()) | 八級 // 二八名 // 一七名 |

うで相撲大会

新潟国体の年、東京オリンピックの年、身近なスポーツで、誰にでもできる「うで相撲」で、スポーツの昂揚に努めましょう。

四月三日午後一時より松代町公民館で行う。

町の内外を問わず、出場大歓迎。

勝負の判定方法は、日本腕相撲協会の決めたところによる。

☆一般の部

競技はトーナメントで行う。五人ぬき、三人ぬき等もある。賞品(協会及び朝日、毎日、日報の各新聞社等から出場者全員に賞品が出る。)

- 東横綱 // 優勝旗、賞状、八幡べい、賞品
 - 西横綱 // 賞状、八幡べい、賞品
 - 東西大関 // 賞状、弓、賞品
 - 東西関脇 // 賞状、つる、賞品
 - 東西小結 // 賞状、矢、賞品
- 右の他は勝力士に賞品、負力士に参加賞を贈る。

優勝旗

争奪

うで相撲大会

出場申込みは松代区長宅(電話三五番)へ、本名・しこ名・年令・出身部落・家号を紙に書くか電話で申込むこと。

☆小・中学生の部

普通競技(二対一で行う) 勝力士に賞品、負力士に参加賞を贈る。

■景品抽籤会

一〇〇名様に景品が当たる。午後一時からの入場者に番号札を渡し、腕相撲の仲入りに抽籤を行い、景品(家庭用品、日用品、文房具等)を贈る。

■クイズ大会

各商店から多大な賞品が当たるクイズがある。問題はやさしいものばかりです。多数のおいでをお待ちします。

主催 松代町春まつり実行委員会
後援 松代商業組合
松代青年会
松代青年会
松代町社会体育指導委員

松代町春まつり実行委員会
松代商業組合
松代青年会
松代青年会
松代町社会体育指導委員